

スギ花粉症皮膚炎

皮膚科

ス

ギ花粉症はくしゃみ・鼻水・鼻づまりなどの鼻炎症状と目のかゆみなどの症状が知られていますが、皮膚にかゆみを起こしてくるものをスギ花粉症皮膚炎と呼んでいます。これはスギ花粉が顔やくびなどの露出部の皮膚に接触することが原因と考えられるもので、花粉症の鼻や眼の症状に先行して生ずることがあり、花粉が原因だと気づかないこともあります。

特徴は、①花粉の季節に起こり他の時期には症状がない②顔・眼のまわり・くびなど露出部に生ずる③かゆみがあり赤く腫れぼったい蕁麻疹のような症状で始まることが多い、などです。また、アトピー性皮膚炎の30%程度の患者さんにスギ花粉による症状増悪があるとされています。

スギ花粉抗原は分子量が大きく皮膚の角層を通過できないため、普通は皮膚内に侵入できないのですが、皮膚の角質に障害がありバリアー機能が衰えていると侵入してしまいます。



アトピーの患者さんでは、このバリアー機能が弱いために症状悪化が見られると考えられます。また、女性のクレンジングや洗顔料による皮膚のバリアー機能の障害（主に皮膚の乾燥・肌荒れ）なども誘因となることが多く、予防はスキンケアにより皮膚のバリアー機能を保ち、花粉が皮膚に付着するのを避けるよう心がけることが大切です。具体的には①洗顔時などに顔をこすりすぎず保湿はしっかりする②外出時には頭の花粉尘着を防ぐため帽子を着用する③帰宅時に洗顔する④洗濯物を屋外に干さない、などです。多摩地区はスギ花粉飛散が多い地域です。花粉の影響は早い時期から出始めますから、今年このような症状があった方は来年もご用心です。早めの対策が効果的です。治療法は花粉症に準じ抗アレルギー剤の服用が主です。

梶山 理嘉



皮膚科・小児科
多摩ガーデンクリニック
東京都多摩市落合1-35 ライオンズ多摩センター3F

予約・お問い合わせ
042-357-3671

※皮膚科と小児科では診療時間及び受付時間が異なります。詳しくは受付・電話にてご確認ください。